

50周年記念山行 槍ヶ岳～北穂高岳～奥穂高岳山行報告

[日 程] : 8月5日(金)～7日(日)(4日夜20:00発)

[メンバー] CL 田中 SL 小倉 江橋(会計) 時田(記録) (一部加筆:田中)

[山 域] 北アルプス南部

[天 気] 3日間ともに快晴

[コースタイム]

5日 : 新穂高温泉 5:45 → 滝谷出合 9:30 → 槍平小屋 10:50 → 槍ヶ岳山荘 15:30 (泊)

6日 : 槍ヶ岳山荘 4:50 → 南岳 7:20 北穂高岳 → 11:30 → 涸沢岳 14:45 → 穂高岳山荘 15:10 (泊)

7日 : 穂高岳山荘 4:45 → 奥穂高岳 5:30 → 穂高岳山荘 7:00 → 白出沢出合 10:35 → 穂高平 11:30 → 新穂高温泉 12:35 ⇒ 入浴後に往路を帰還する。⇒ 市原着 22:00

[行動記録]

前回雨天の為に未踏破となった大キレットのリベンジ山行を行いました。

仕事を定時に終えた江橋さんと合流して市原を早めに出発しました。

5日 : 新穂高温泉の無料駐車場は既に満車であり、仕方無く時間貸の駐車場に駐車をする。

3日間ですべて幾らになるのかしら? 心配してもしようがないね～

朝からの行動に備えて軽く乾杯し就寝。

「ゴオー」という水音で目覚める。「駐車場に張ったテントの下は急流の川であった。」

急いで身支度をして5時45分出発。

今回は岐阜県側からの入山となるのだが横尾経由と同様なだらかなスタートだ。

2時間歩いても殆ど標高は上がらない。

最後に急登が待ち構えているのは間違いない。

槍平小屋で長めの休憩を取り気合いを入れて出発。

この頃になると台風の影響か湿度とお日様が容赦無く我々を襲う!!!

おまけに行けども、行けども槍のテッペンは見えてこない。

遠い!!! 暑い!!! 重い!!! とヘタレの私。

「一步一步と足を運べばいつかは着くよ」と CL に励まされ足を進めた。

「2度目の槍ヶ岳 待ってるよ～」と頑張る。穂先が見えてテンションを上げる。

何故か元気な Oさんと Eさんに遅れること30分 どうにか到着。

ここまで来てやっと振り出しに戻った訳だ。明日は50周年のタスキを繫げる。

しばし元気な2人は山頂へ!

CLと私は部屋へザックを運び込む。前回は小屋全体が冷え切っていて布団もジトジト!!!

心配したが今日は大丈夫そう。

ぼどなく山頂から戻った2人と合流しまずは「乾杯!」



【まずは振り出しにて乾杯】



【美味しい夕食：いただきます。】

それにしてもお隣の韓国は登山ブームなのか右を見ても左を見てもそちらの方々。

辛ラーメンの良におい。やっと3番目の食事の時間となり CL 流「ご飯は富士山盛り」でハンバーグを頂き。睡眠時間が短かったこともあり今日は早めに就寝。



【ミッションスタート】



【日の出とともに歩み出す】

6日：4時前に目覚め身支度をする。

今日もいいお天気で我々の背中を押してくれそうだ！

ヘルメットやカラビナは身に付けたので少しザックが軽くなった。「ホッ！」

朝食弁当は中華チマキであった。これは美味しい！「早出の為に小屋内で食す。」

最初に目指すは南岳 昨日よりは足も軽いぞ。

そして本日の核心部 大キレットへ足を踏み入れる。

緊張と興奮でテンションの上昇した私は楽しくなってきた。しかしここは大キレットだ！

槍と穂高が変わるところで険しい岩稜帯が果てしなく続く。

乾いた岩は掴み易いな～でも慎重にね。

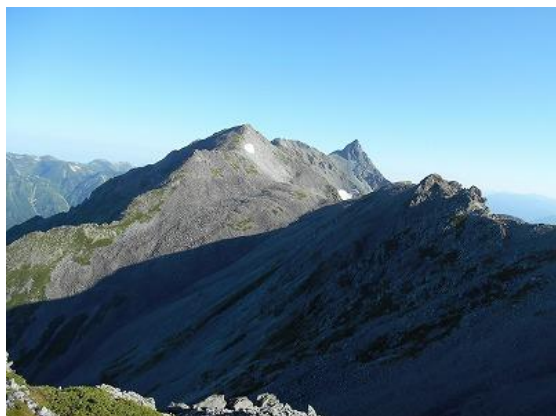
最低鞍部から見上げる北穂高岳は壁のように見えるけど、あそこまで辿りつけるのか？と

思ってしまう。「右側には鳥も通わぬと言われた名だたる滝谷が荒々しく聳える。」

昨日のCLの言葉を思い出し「一步一步」そして振り返れば今朝出発した槍が小さくなった。

お昼前にはミッションの北穂高岳に到着した。

「やったね～お疲れ様」ここ、北穂高小屋でEさんはカレーライスを食しパワー補充。



【振り返れば槍ヶ岳】



【南岳山頂にて】



【北穂高岳にてミッション終了】



【荒々しい滝谷の姿】

この先は今回山行のオプションだ。更に気の抜けない北穂高岳～涸沢岳へ向かう。

浮き石も多く神経をすり減らしながらも3時過ぎには穂高岳山荘に到着した。



【荒々しい稜線を越えて】



【潤沢岳にて】

奥穂高岳山頂は明日に、お預けし小屋の手続きの後に石のテラスで「カンパーイ！」旨い美酒！夕食までのんびりとテラスで贅沢な時を過ごす。大混雑の小屋は食事4交代、布団は2人で1枚でも鯖の塩焼きと豚角煮、コロッケやサラダなどおかずたっぷりのメニューで大満足です。夜は今日も満天の星空、少しの間に流れ星を4つも見ておやすみなさい。

7日：空身なので垂直のハシゴをするすると幾つか登り切れば標高2位タイの奥穂高岳山頂。山荘に戻って朝食は朴葉寿司と鮎の山椒煮弁当。これも絶品！「早出の為に朝弁当にした。」



【奥穂山頂のOさんのシルエット】



【初登頂のTさんEさん】



【モルゲンロートの槍穂高連峰】



【モルゲンロートの焼岳とジャンダルム】

帰りたくないけれど、仕方ないですね～7時下山開始

約4時間を白出沢の岩ゴロゴロを下る！！今でも目を瞑ると岩がゴロゴロ！！その後は川沿いを鎖、ロープ、梯子などを使いミニ下の廊下状の道をヘツリながら、慎重に白出沢出合に下山する。

みんな足の裏も足首も膝もみなガクガクになりやっとの事で穂高平まで降り小さな沢で足を冷やしてクールダウン。

ちょうー冷たい！ちょうー気持ち良いー！





【サー白出沢のガレを下降】



【中間部の廊下状の道に行く】

お昼には駐車場へ。心配した駐車料金は 5000 円也！！

ひらゆの森にて汗を流し渋滞に巻き込まれつつ帰葉。おおよそ 22 時の帰宅であった。

リベンジ槍穂山行を終えて

前回の山行で悔し涙を流した 3 人のメンバーにベテラン O さんを加えて、無事にミッションクリアとなりました。

憧れの槍穂大縦走を経験させていただき CL 田中さん、SL 小倉さん、初縦走の江橋さん
ありがとうございました。(時田)

田中追記：年々衰える体に鞭を打ち仲間と楽しく行けた山行であった。山行中は私の愛する穂高
と我が想いの花：岩桔梗を愛でる山旅に次の槍穂の縦走はもはや無いのかな？想いを馳せた。
青春頃に読んだ詩：憧れの 穂高の峰に 初雪は 高峰にひとり 君がたたずむ。(君とはもう一人の私)
そして今回、返す詩を読んだ。：「いくたびか 我が山並みに 岩桔梗 想いはてなし 槍穂高」

最後に今回の山行にトップで道先導と仲間への配慮をして頂いた O さんに感謝を致します。



【我々を迎えてくれた岩桔梗】